

若松かねしげ四季報(夏季)

参議院議員・公認会計士・税理士 若松謙維

2016年4月1日～8月15日

この度の参議院選挙では、党员・支持者の熱い真心からのご支援により、公明党7選挙区完勝、比例区7、合計14議席と過去最高の結果となりました。長期にわたるご支援、本当にありがとうございました。

8月5日、復興副大臣を退任しましたが、与党の立場で福島復興加速化とともに、秋の大型補正予算を成立させ、アベノミクスの遂行、デフレ脱却に向け、新人議員と一緒に、全力で働いてまいります。

1. 政 局

(1) 2016参院選の総括

政策の継続と政治の安定を訴えた自公両党は、公明14（前回9）＋非改選11、自民56（前回50）＋非改選65、自公146議席（過半数121）と、議席を伸ばしました。

1人区の選挙区では、与党21、野党統一11となり、3年前の参院選での岩手、沖縄以外の選挙区で自民勝利の結果に比べると、自民は東北6県中秋田しか勝利できず、与党にとって西高東低の結果となり、野党統一に一定の効果はあったといえます。

アベノミクス政策の支持率は、2年前の衆院選は53%、今回は56%と、野党のアベノミクス失敗発言は有権者に浸透しませんでした。

(2) 都知事選と内閣改造

参院選直後の都知事選のため、無所属の小池百合子前衆議院議員、野党統一のジャーナリスト鳥越俊太郎氏、自公推薦の増田寛也元総務大臣・岩手県知事の3人の争いとなり、しがらみのない都政をアピールした小池候補が2位の増田候補に100万票以上差をつけて圧勝しました。今後は、オリンピック施策を含め、自公都政との関係に注目が集まります。

8月1日、臨時国会が召集され、参議院議長に伊達忠一さん、自民党参院会長に橋本聖子さん（ともに北海道在住）が選出され、北海道も地盤とする私にとって朗報となりました。

3日、安倍総理は谷垣禎一自民党幹事長を二階俊博衆議院議員に交代させたものの、財政金融、厚生労働、総務、外務の主要大臣は変更せず、公明党の石井啓一国土交通大臣も留任させ、第3次安倍第2次改造内閣は発足しました。復興副大臣は、私の後任に長沢広明参議院議員が任命され、私は10か月ぶりに党務に戻ります。



(3) 平成28年度大型補正予算と平成29年度予算編成作業

8月2日、先のG7サミットでの安倍総理が強調した世界経済リスクの対応策として、総事業費28兆円、財政措置14兆円の未来投資実現の経済対策を閣議決定しました。この審議は秋の臨時国会で行われますが、アベノミクスを一層加速する、産業構造改革、働き方や労働市場改革、人材育成の一体改革が自公政権で推進されます。

また、平成29年度予算概算要求基準の考え方も同日閣議決定され、特別枠として確保される新しい日本のための優先課題推進枠4兆円の考え方が示されました。

2. 復興副大臣公務・国会活動・党務

(1) 復興副大臣公務活動

〔在日フランス人福島復興支援〕

4月3日は、大震災発生後、毎月フランス料理を被災地に届けている「ラ・キャラバン・ボナペティ（召し上がれの意味）」事業の5周年記念パーティーがフランス大使館で開催され、復興庁を代表して感謝の意を述べました。

〔福島12市町村将来像提言〕

大震災から5年経過し、従来は避難指示区域の市町村単位別の復興が中心でしたが、広域的な課題も明らかになり、4月23日、福島12市町村将来像に関する有識者検討会での議論に参加し、5月28日には高木復興大臣出席の下、2020年までのロードマップを策定することができました。

〔復興関係式典〕

東日本大震災5周年事業が多く開催され、復興庁に関わる出席式典の代表例を紹介します。

4月10日、経済産業省主催の「国際廃炉フォーラム」がいわき市で開催され、世界の原子力発電災害の経験を有する専門家が集まりました。駐在経験のある英国ウインズケール原子炉で1957年にレベル5の事故が発生していたことは意外でした。

4月30日、ふくしま飛行協会主催の復興イベントが福島スカイパークで開催され、6月のエアレース千葉大会で優勝した室屋選手の操縦で、内堀知事らと福島第1原発上空を飛ぶ予定でしたが、飛行不可能な強風で、式典挨拶のみとなりました。

5月8日、「こども震災国際シンポ」が相馬市で開催され、幅広い関係者による「こどもと震災」を考える有意義な企画でしたが、やはり、放射線に関するテーマが中心となり、福島医大の役割の重要性を再認識しました。

6月は「復興庁東北復興月間」と意義づけ、復興庁主催の様々な事業に出席しました。6日は、復興庁主催の東日本大震災5周年復興フォーラム「福島情報発信分科会」が千代田区のイノホールで開催され、私は分科会「若者にとって魅力ある福島を目指して」に出席し、若者の視点からの復興提言に多くの新鮮な発想を頂きました。

11日は、食育推進全国大会が郡山市（ビッグパレット）で開催され、来場者は2日間で2万人に上りました。

26日は、復興庁主催の「新しい東北」事業の一環で、被災地3県で活躍される女性によるパネルディスカッション「女性活躍DAY」が「3331アーツ千代田」で開催され、女性の視点からの復興に関する意見も大変参考になりました。

〔仮設住宅視察〕

大震災6年目に入る3月以降、現在まで20か所の仮設住宅で住民懇談会を開催しました。

5月10日は、浪江町の避難者が住まれる二本松市と本宮市および国見町の仮設住宅計3か所で開催、7月27日は、三春町にある貝山仮設住宅（葛尾村民）と熊耳（富岡町民）で同じく懇談させていただきました。復興公営住宅等の完成が相次ぎ、空室が目立つ仮設住宅が増えてきましたが、長引く避難生活に対応する「心のケア」の充実に、現場主義で取り組んでまいります。

〔安倍総理同行〕

6月3日、安倍総理および高木毅復興大臣（当時）に同行し、いわき市小名浜魚市場、避難指示解除前の川内村と葛尾村を視察しました。参院選直前の時期のため、安倍総理は時折政務に切り替え、小名浜と郡山駅前街頭演説を行う忙しい視察でした。

〔福島県庁〕

参院選翌日の7月11日、新任の復興庁福島統括官と福島復興局長を同行し、福島県庁に伺い、鈴木副知事らと意見交換を行いました。復興には人間関係の信頼が不可欠であり、新任早々の交流ができました。

（2）委員会活動

〔東日本大震災特別委員会及び原子力問題特別委員会〕

一般質疑の委員会が、参議院では4月13日と5月20日、衆議院では27日開催され、それぞれ答弁を行いました。

〔文教科学委員会〕

平委員として、4月19日と5月24日開催の委員会に出席しました。委員長は、秋田選挙区の石井ひろお参議院議員です。オリンピック関連質問では、遠藤利明担当大臣との激しいやり取りも多くありました。

（3）党務

〔熊本地震〕

熊本地震発災の翌朝（4月15日）、公明党熊本地震対策本部に出席し、24日は福島市の街頭募金活動に参加しました。

5月2日、長島復興副大臣の地元で、新潟県中越地震の被害で孤立した山古志村の復興状況を視察後、5月6日には熊本市内の介護施設のお見舞と益城町の活断層の現場視察を行い、7日は西原町の介護施設の利用者を避難者として受け入れた大分県佐



伯市の介護施設を見舞いました。山古志と熊本の共通点は、活断層の存在は認識していても、発災の危機意識とその準備がほとんど行われていなかったことです。震度7の地震が阪神淡路大震災以降4回発生し、国内約2千の活断層がいつ大震災をもたらすか予測困難な現時点で、発災より3日間の水、食料、トイレ等、最低限の備えを行政、企業、家庭に促す努力義務を法定する必要性を強く感じました。

〔公明党復興加速化本部〕

5月18日、昨年の与党「復興加速化のための第5次提言」フォローアップの会議が行われました。8月2日は、今月末にもまとめられる「第6次与党提言」の議論開始となる復興加速化会議に出席しました。帰還困難区域に復興拠点を設ける道筋を議論する重要な会議です。

〔マンスフィールド財団研修生〕

5月から約1か月間、米国原子力規制庁に勤務する研修生（米国男性）を受け入れました。若松事務所の福島復興の取り組みに関心を持ち本人からの希望で実現し、今回で2人目となります。白石市党員会にも同行させ、公明党本部も紹介しました。

3. 参院選・国会外活動

（1）参院選支援活動

私は、比例区公明党をPRするため、公示前後ともよこやま信一さんの代わりとして、自民党関係会合に数多く出席しました。

〔福島選挙区〕

いわき光英候補の支援も含め、4月9日須賀川岩瀬合同集会、10日自民福島県連セミナー（郡山）、24日いわき光英事務所開き（福島市）、夜は亀岡よしだみ支持者集会（伊達市）、5月5日吉田栄光県議（自民県連幹事長）パーティー、6月3日いわき光英決起大会（いわき市）に出席。

〔宮城選挙区〕

5月4日は自民党岩沼市支部総会、6月20日は石巻市企業挨拶挨拶、夜は仙台市内の公明時局に出席。

〔山形選挙区〕

4月2日は小国町、白鷹町の鈴木のりかず後援会会合、21日は置賜地方での企業挨拶、5月2日山形市市政報告会に出席。

〔秋田選挙区〕

5月15、16日は鹿角市、北秋田市、にかほ市、大仙市の自民党関係者に挨拶しました。

〔岩手選挙区〕

5月21、22日は岩手県内6か所の公明党時局講演会によこやま候補の代理出席、6月16、17日は被災地視察を兼ねて、岩手県沿岸部11市町村の首長へ挨拶に伺いました。

〔青森選挙区〕

29、30日は青森市、弘前市、大鰐町の自民党関係者への挨拶を中心に活動しました。

〔兵庫選挙区〕

6月9、10日は、「伊藤たかえ」候補の応援に、埼玉人脈を活用し、介護施設、ガス会社等を訪ね、「揖保乃糸」の製造組合より推薦を頂くことができました。

〔埼玉選挙区〕

埼玉6区時代の人脈を「西田まこと」候補につなげるため、国会の合間を縫い頻りに埼玉入りしましたが、6月12、18日は1日中埼玉6区を回り、選挙戦最終日の9日は早朝、上尾市内の医療機関で西田候補と最後のお願いをしました。

〔北海道応援〕

6月14、15日は札幌市内で、28日は旭川市で、中央大学と福島県人会の有力者に同行し、27日は苫小牧は企業中心に回りました。

〔選挙戦本番〕

選挙戦本場中、よこやま候補と会ったのは、7月3日の東北最後の青森市での決起大会だけであり、ひたすら、安倍総理との街頭演説、決起大会、企業挨拶等で、よこやま候補を訴えました。

(2) 榎葉町長選

4月7日の榎葉町長選告示日、昨年9月5日の避難指示解除以降、エコテックを含む復興事業に積極的な松本幸英町長を落とすことはできないため、会期中でしたが、公務日程がなかったため、出陣式の冒頭挨拶後に駆けつけ、直ちに都内にもどりました。結果は勝利し、従来以上に復興が加速化しています。

(3) 中央大学

中央大学は、法学部の都内移転が進展しており、同時に高齢社会に対応した新学部を検討中と聞き、4月16日、酒井中央大学総長・副総長を、日本版CCRCの先駆的取り組みをしている「ユニマツトリタイアメント・コミュニティ」の千葉県の施設にご案内し、意見交換を行いました。

5月17日は国会白門会がキャピタル東急で開催され、同副会長の私も出席しました。ここでは、国家議員、秘書、事務局の立場を越えて、大学の話題で盛り上がりました。

6月1日から中央大学学会の幹事に就任し、参院選最終日の7月9日には郡山白門会で講演を行いました。今後も母校発展に尽力してまいります。

(4) 党員会

参院選活動が多かったため、党員会開催は少なく、4月27日の亘理町、5月31日の白石市での党員会に参加させていただきました。

(5) 政策勉強会および地元活動

私の勉強会で一番活発な仙若会を、4月21日に仙台市内で開催し、実質の参院選決起大会となり、選挙戦本番での選挙活動はよこやま信一勝利のリード役となる活躍でした。

〔郡山シティーマラソン〕

昨年はぎっくり腰で欠場した郡山シティーマラソンが4月29日行われ、今回は2年前の同大会より約1分遅れましたが、28分18秒、644人中286位で完走できました。65歳まで5キロ30分を切りたいです。

5. 若松事務所の現況報告

①国会事務所（恩田政策秘書、菊地秘書）

恩田秘書が政策面、市民相談等のサポート、菊地秘書がスケジュール管理等を行っています。

*東京都千代田区永田町2-1-1参議院議員会館1207号室
Tel:03-6550-1207 Fax:03-6551-1207

②福島事務所（佐藤公設第1秘書）

県都福島市の事務所は、福島県内の活動拠点だけでなく、県庁や県議会との連携を強化という重要な役割を担っています。佐藤秘書は仙台と福島の往復の毎日です。

*福島県福島市陣場町8-24 SSTビル2階
Tel:024-522-2500 Fax:024-522-2505

③盛岡事務所（太田公設第2秘書）

北東北3県（岩手・青森・秋田）の活動拠点として、盛岡市に事務所を設けています。参院選中、太田秘書は、青森、秋田に何度も行き、北東北3県の党勢拡大に全力を尽くしています。

*事務所：岩手県盛岡市茶畑2-10-8ササエイビル2階（公明党岩手県本部内）
Tel:019-656-7761 Fax:019-656-7762

④上尾事務所（資金管理団体〈市民フォーラム〉の活動拠点であり、妻がサポートしています。）

*事務所：埼玉県上尾市仲町1-4-16
Tel:048-777-3515 Fax:048-777-3516

以上。